

JASDAQ

証券コード：5742

第40期 事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先の東日本大震災により被災されました皆様に対しまして、衷心よりお見舞い申し上げます。

第40期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国の経済は、アジアを中心とした新興国向け輸出の増加や各種政策の効果等による企業収益の回復傾向が見られたものの、厳しい雇用環境やデフレ状況は依然続いており、先行きの不透明感は払拭されないまま推移してまいりました。これに加えて本年3月11日に発生した東日本大震災が、回復基調を示しつつあった国内経済の先行きを更に不透明なものにしております。

当社はこのような状況の下、拡販ツールとして自社開発した世界初の3次元自動設計システム「カクチャ™」や、作業時間を大幅に削減可能とする組立省力化システム「マーキングシステム™」を活用し、新規顧客開拓を中心とした売上高の確保に注力してまいりました。また、顧客の生産量増加に伴う工業用砥石・油脂類・工具ツールなどの消耗品の需要増加に対応するとともに、生産現場の更なる効率化を実現する自動化・省力化装置の提案営業を積極的に展開してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は、4,992百万円（前期比95.3%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の圧縮や製造コスト削減の徹底を図った効果と売上高の増加等により、営業利益は84百万円（前期は169百万円の営業損失）、経常利益は94百万円（前期は150百万円の経常損失）、当期純利益は46百万円（前期は74百万円の当期純損失）となりました。

当事業年度におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」の支援ソリューション提案活動を全国展開するとともに、アルファフレームシステムの価格改定を平成22年1月と同年5月に実施いたしました。また、2年毎に改訂している総合カタログを同年10月に発行し、当社の技術力・製品力とリーズナブルな価格を広くPRすることによる潜在的なユーザーの掘り起こしを行いました。これら施策の結果、納入件数は着実に増加し、リーマンショック前のレベルまで回復いたしました。しかしながら、物件規模が小さく、1件当たりの平均売上金額については当社の期待値より低い状況で推移したため、全体の伸びは緩やかなものとなりました。しかしながらユーザーは、次なるコストダウンの方策を検討しており、他社には無い「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した設計や生産の合理化が注目されております。

この結果、当部門の売上高は1,256百万円（前期比22.0%増）となりました。

② 装置部門

装置部門におきましては、海外向けフラットパネルディスプレイ製造装置用カスタムクリーンブースが堅調に推移し、特に当事業年度の第3四半期から第4四半期にかけて売上高が伸びました。また、当事業年度の第2四半期まで若干低調であった自動車部品製造関連企業向け自動化・省力化装置も同様に第3四半期以降受注が増加し、搬送装置や洗浄装置等の売上高が伸びました。なお、洗浄装置の納入先からは高評価をいただき、今後の引き合いも多いことから、翌事業

年度以降も継続受注が期待できます。また、光ディスク製造関連企業向けのマシンカバー等を翌事業年度売上の大型案件として受注に成功し、クリーンブース案件の受注も活発化しております。

この結果、当部門の売上高は2,797百万円（前期比208.7%増）となりました。

③ 商事部門

商事部門におきましては、輸出増加に伴い部品製造関係企業の生産量が伸び、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の需要が増加したため売上高は伸長いたしました。また、低調であった機械設備関係の引き合いも、当事業年度の第3四半期以降増え始め、受注を確保いたしました。

この結果、当部門の売上高は938百万円（前期比51.4%増）となりました。

〈利益配分に関する基本方針及び当期の配当〉

当社は、「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しております。そのためには、企業の社会的責任を認識し、社会貢献に努めるとともに、絶えず技術力、開発力を高めて成長性の向上に努め、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実に一層の努力を行って収益の拡大を図っていくことが肝要であると考えております。また、利益配当につきましては、経営成績やキャッシュ・フローの状況を勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。

この方針に基づき、平成23年3月期の期末配当につきましては、平成23年3月31日現在の株主の皆様に対し、1株につき800円とさせていただきます。

〈今後の見通し〉

今後の見通しにつきましては、このたび発生いたしました東日本大震災により、国内経済に及ぼす影響は予測困難であり、震災復興の見通しや景気動向は見通しづらく、不透明な状況であります。

このような環境の下でも、わが国としては早急に経済復興を図るとともに、グローバルな産業技術の競争に遅れをとらぬよう努める必要があり、そのためには新製品開発及び高度な生産技術を実現するための自動化・省力化の追求を更に加速するものと考えられます。これに対し当社は、お客様からの要求にお応えすべく、次世代型の自動化・省力化システムを開発し、より早く提案・提供していくことに取り組むとともに、引き続き社内の効率化を推し進め、業績の拡大と収益向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長

西川 浩 司

本ページ及びこれに続く図表等は、当社の概況等を要約・作成したものであります。
 詳細は、本文の該当頁をご覧ください。

事業の概況

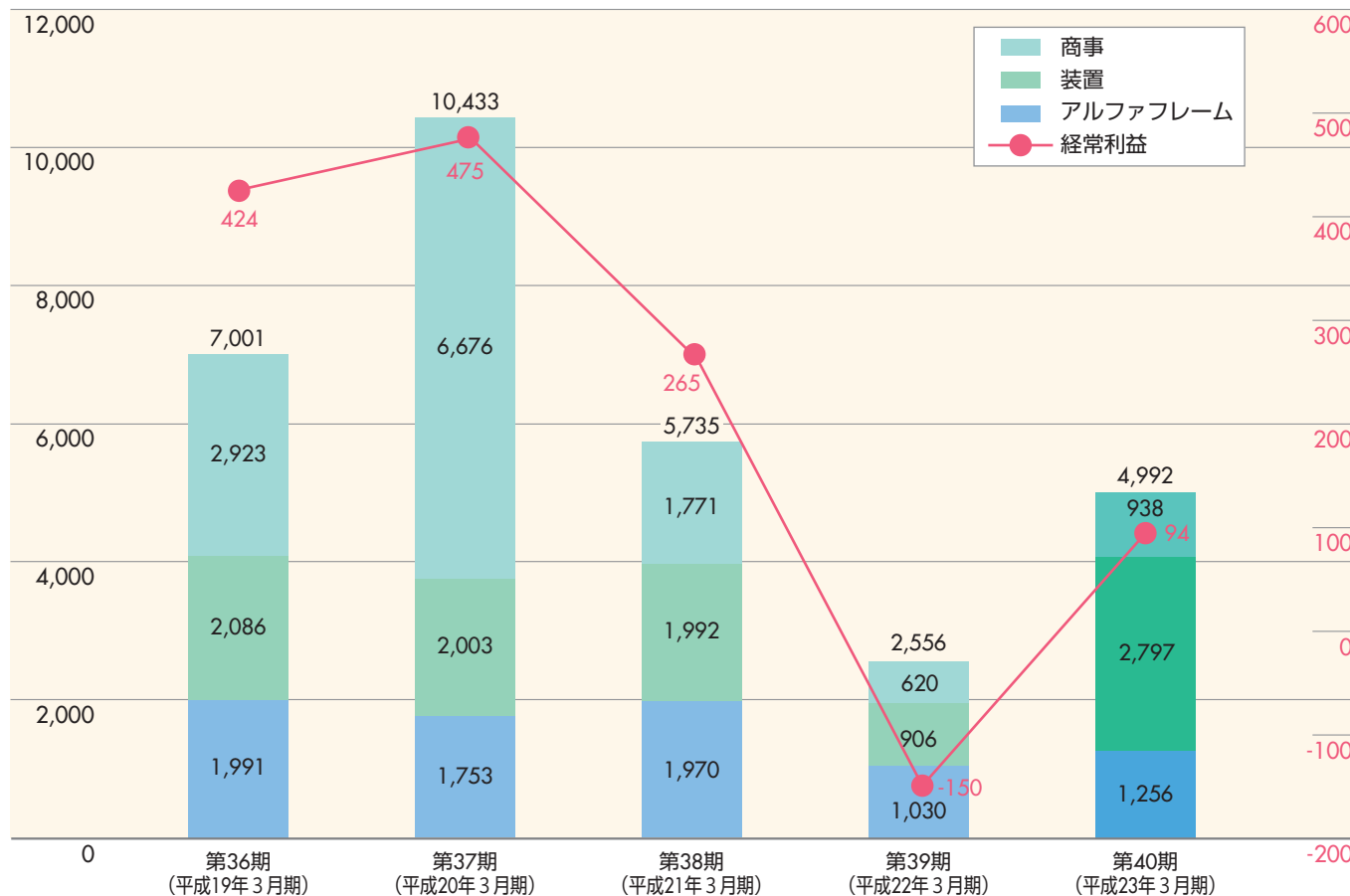
各事業部門の売上構成

(単位：千円)

区 分	第39期		第40期		増 減	
	平成22年3月期		平成23年3月期		売上金額	前期比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,030,442	40.3%	1,256,942	25.2%	226,500	22.0%増
装置部門	906,072	35.5%	2,797,247	56.0%	1,891,174	208.7%増
商事部門	620,074	24.2%	938,692	18.8%	318,618	51.4%増
合 計	2,556,589	100.0%	4,992,882	100.0%	2,436,293	95.3%増

事業部門別売上高及び経常利益の推移

(単位：百万円)



主要な経営指標等の推移

回次	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
決算年月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月
売上高 (千円)	7,001,569	10,433,805	5,735,657	2,556,589	4,992,882
経常利益 (千円)	424,270	475,407	265,456	△150,895	94,065
当期純利益 (千円)	239,885	268,016	164,394	△74,007	46,958
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	156,100	156,100	156,100	156,100	156,100
発行済株式総数 (株)	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
純資産額 (千円)	2,721,932	2,868,922	2,938,177	2,843,160	2,886,368
総資産額 (千円)	4,706,507	6,084,241	3,973,451	3,535,054	5,495,341
1株当たり純資産額 (円)	49,489.68	52,651.40	53,922.40	52,178.61	52,971.58
1株当たり配当額 (円) (内、1株当たり中間配当額)	850 (—)	1,000 (—)	1,000 (—)	700 (—)	800 (—)
1株当たり当期純利益 (円)	4,452.49	4,910.75	3,017.02	△1,358.20	861.79
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	57.8	47.1	73.9	80.4	52.5
自己資本利益率 (%)	9.6	9.6	5.7	△2.6	1.6
株価収益率 (倍)	18.2	7.2	6.2	—	21.8
配当性向 (%)	19.1	20.4	33.1	—	92.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	453,698	1,018,820	△492,964	234,777	△190,088
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△73,552	△190,473	△46,062	△39,679	△60,679
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△251,621	△120,533	△74,220	△54,241	△37,933
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	295,640	1,003,454	432,730	573,586	284,885
従業員数 (名) (外、平均臨時雇用者数)	140 [28]	143 [17]	149 [23]	137 [8]	140 [15]

(注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。

4 第37期の1株当たり配当額1,000円には、創業80周年記念配当150円を含んでおります。

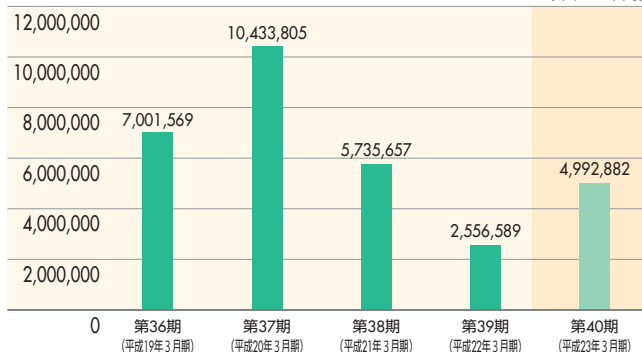
5 第36期から第38期までと、第40期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

6 第39期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

7 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

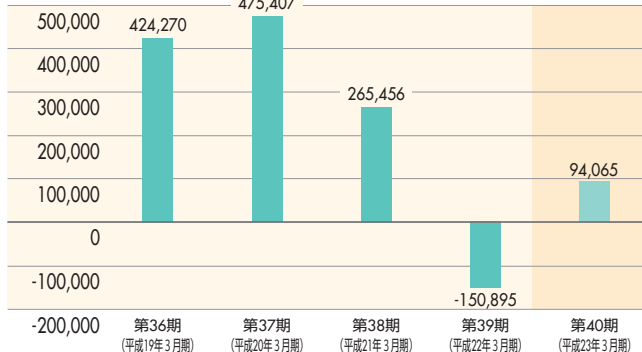
売上高

(単位：千円)



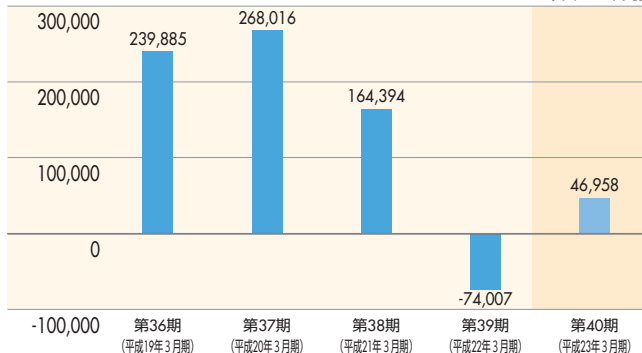
経常利益

(単位：千円)



当期純利益

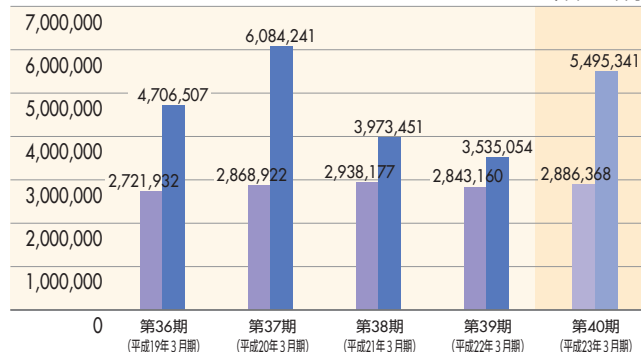
(単位：千円)



純資産額/総資産額

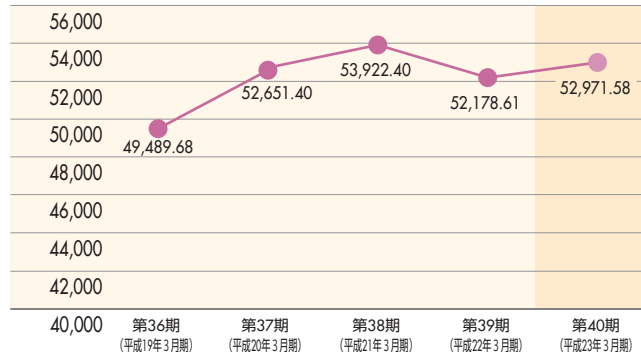
純資産額 ■ 総資産額 ■

(単位：千円)



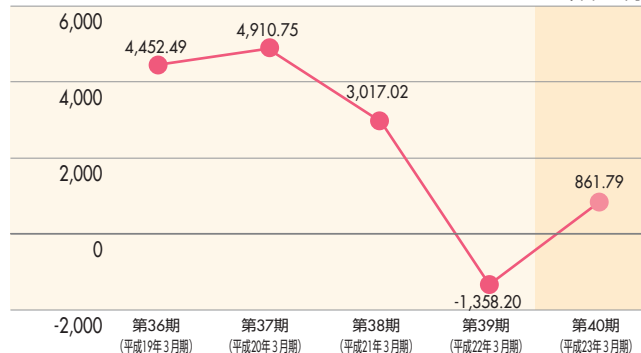
1株当たり純資産額

(単位：円)



1株当たり当期純利益

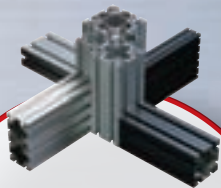
(単位：円)



当社は、地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体『商品名「ALFA FRAME®SYSTEM」(以下、アルファフレームシステムという。)」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。アルファフレームの特徴を活かし、各種工場で使用される洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置及び、クリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。

3つの事業部門

アルファフレーム + 装置 + 商事 = 高付加価値技術



アルファフレーム
部門

装置部門



商事部門



アルファフレーム部門

アルミ製構造部材の国内でのパイオニア的存在
経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
豊富な製品群“1,500以上”による多彩なシステムの提供
新製品開発力

装置部門

幅広い業界で利用される技術
先端技術力を持つ企業から積極的受注体制
特定の業界に依存しない業務体系

商事部門

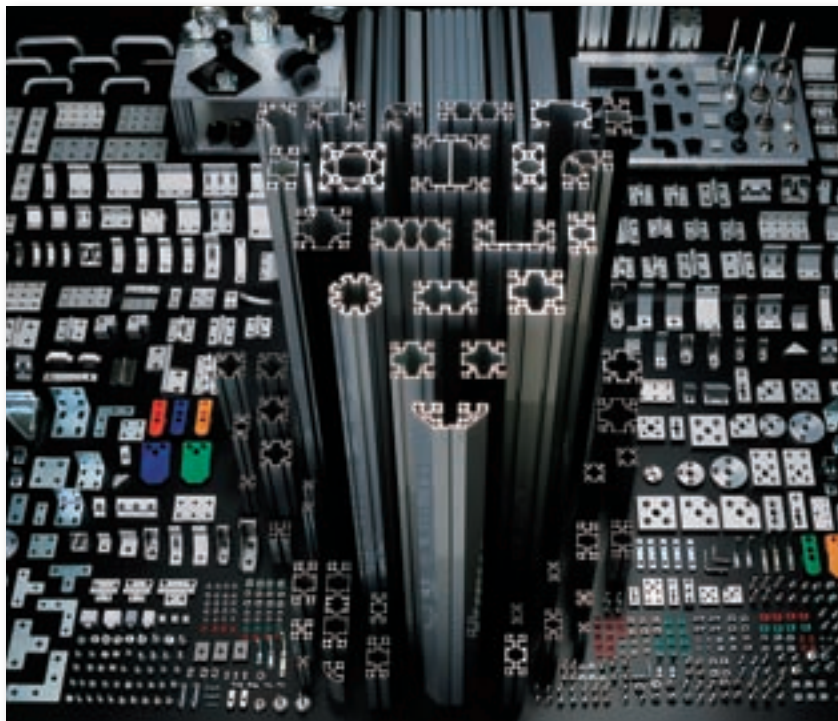
「メーカー機能」を活用した設備の導入提案営業

アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で22年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール&システム”「アルファフレーム®システム」は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウムフレームです。各種装置の筐体やカバーを製作する為の最適なプロファイル、パーツを揃えています。また、世界唯一のマーキングシステム™(フレームに直接組立に必要な情報をプリント:P9参照)により敏速、確実な組立を行うことが可能です。

ALFA FRAME SYSTEM

Automobile	自動車
Semiconductor/FPD/Clean	半導体・液晶・クリーン関係
Microelectronics/Machine	電子・精密機械
Pharmaceutical/Food	薬品・食品



FRAME



BRACKET



ACCESSORY

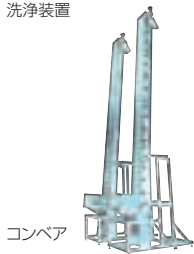
装置部門

半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じた洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。アルファフレーム®システムを基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。



洗浄装置

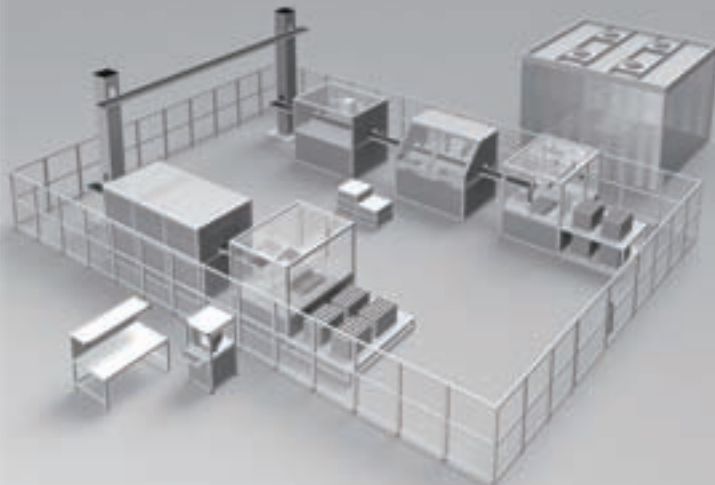


コンベア

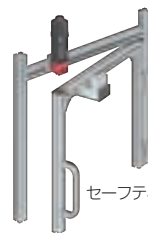


検査装置

生産ラインのトータルソリューション オーダーメイド開発



クリーンブース



セーフティシリース



クリーンワゴン

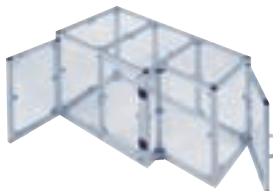
FA装置(ファクトリーオートメーション)

- 洗浄装置
- 製造装置
- 搬送装置
- 検査装置



工業製品

- マシンカバー
- マシンベース
- 収納ケース
- ストッカー
- 作業台
- 棚



クリーン関連

- クリーンブース
- クリーン ベンチ
- ミニエンパイロメント
- FFU
- 各種クリーン機器



商事部門

工業用砥石、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品です。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、メーカー機能を持った商事部門として、安定したビジネスを展開しております。また、お客様のニーズに合わせ機械メーカーに注文し、当社装置部門が製作した自動搬送装置、洗浄機、検査装置等を組み合わせ、最適なフルオートメーションラインを提供しております。



油脂類



工業用砥石



工具・ツール

アルミフレーム製作の

発注を容易にしたい

納期を短縮したい

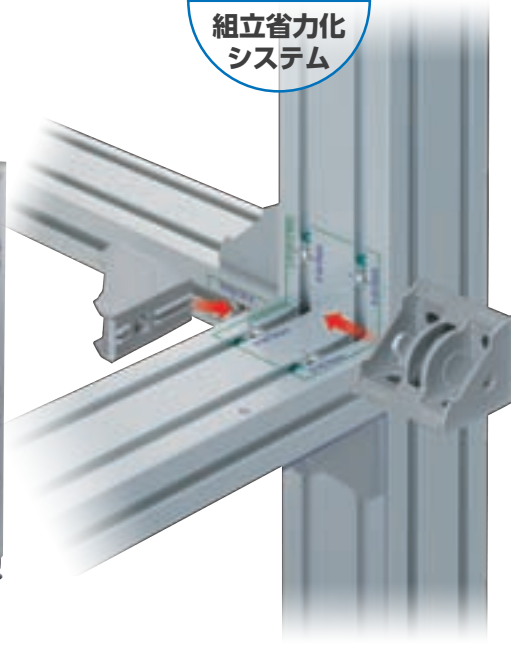
組立をもっとスムーズに

KAKCHAR™ Marking System

カクチャサービスは、設計から組立・現地据付のアウトソーシングによる作業時間の短縮、人的負担の軽減および組立品質の向上など、お客様のご要望に合わせた装置製作の合理化・省力化をサポートします。また、「カクチャ™」のデータを利用することで可能となった「マーキングシステム™」（組立に必要な情報を直接フレームにプリント）により、組立作業時間の大幅短縮を実現しました。

「アルファフレーム®システム」「カクチャ™」「マーキングシステム™」のパッケージでご利用いただくことで、設計時間が1/10、組立時間が3~4割削減可能となり、人件費を含めた組立総コストが4~5割削減することが可能となりました。

マーキングシステム™
世界初
組立省力化
システム



貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額	科 目		金 額
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産		3,807,360	流 動 負 債		2,451,151
現 金 及 び 預 金		288,885	支 払 手 形		743,139
受 取 手 形 金		497,729	買 掛 金		1,570,551
売 掛 金		2,443,447	リ ー ス 債 務		13,391
商 品 及 び 製 品		134,704	未 払 金		44,457
仕 掛 品		141,208	未 払 法 人 税 等		9,201
原 材 料 及 び 貯 蔵 品		229,950	未 払 費 用		22,357
前 払 費 用		2,806	預 り 金		3,292
繰 延 税 金 資 産		57,913	製 品 保 証 引 当 金		5,281
そ の 他 金		10,981	賞 与 引 当 金		39,299
貸 倒 引 当 金	△	266	そ の 他		178
固 定 資 産		1,687,980	固 定 負 債		157,821
有 形 固 定 資 産		1,204,680	リ ー ス 債 務		34,039
建 物		595,396	退 職 給 付 引 当 金		122,357
構 築 物		8,433	資 産 除 去 債 務		1,423
機 械 及 び 装 置		33,984	負 債 合 計		2,608,972
車 両 運 搬 具		1,097	純 資 産 の 部		
工 具 器 具 及 び 備 品		63,744	株 主 資 本		2,828,749
土 地		456,904	資 本 金		156,100
リ ー ス 資 産		44,541	資 本 剰 余 金		146,100
建 設 仮 勘 定		577	資 本 準 備 金		146,100
無 形 固 定 資 産		24,592	利 益 剰 余 金		2,560,960
ソ フ ト ウ 工 ア		21,529	利 益 準 備 金		8,750
リ ー ス 資 産		1,116	そ の 他 利 益 剰 余 金		2,552,210
そ の 他		1,947	別 途 積 立 金		1,430,000
投 資 其 他 の 資 産		458,708	繰 越 利 益 剰 余 金		1,122,210
投 資 有 価 証 券		191,926	自 己 株 式	△	34,410
出 資 資 金		3,370	評 価 ・ 換 算 差 額 等		57,618
破 産 更 生 債 権 等		30	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		57,618
繰 延 税 金 資 産		9,569	純 資 産 合 計		2,886,368
保 険 積 立 金		236,433	負 債 及 び 純 資 産 合 計		5,495,341
会 員 権		1,800			
そ の 他		17,078			
貸 倒 引 当 金	△	1,500			
資 産 合 計		5,495,341			

損益計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,992,882
売 上 原 価		4,084,842
売 上 総 利 益		908,039
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		824,033
営 業 利 益		84,006
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	23	
受 取 配 当 金	1,985	
仕 入 割 引	3,505	
助 成 金 収 入	2,021	
還 付 加 算 金	1,389	
そ の 他	1,133	10,059
経 常 利 益		94,065
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 去 損	361	
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	596	958
税 引 前 当 期 純 利 益		93,107
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	7,084	
法 人 税 等 調 整 額	39,064	46,148
当 期 純 利 益		46,958

株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
前 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,113,394	2,552,144	△ 34,410	2,819,933
当 期 変 動 額									
剰 余 金 の 配 当						△ 38,142	△ 38,142		△ 38,142
当 期 純 利 益						46,958	46,958		46,958
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	8,815	8,815	—	8,815
当 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,122,210	2,560,960	△ 34,410	2,828,749

(単位：千円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前 期 末 残 高	23,226	23,226	2,843,160
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当			△ 38,142
当 期 純 利 益			46,958
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	34,392	34,392	34,392
当 期 変 動 額 合 計	34,392	34,392	43,208
当 期 末 残 高	57,618	57,618	2,886,368

会社の概要 (平成23年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	昭和46年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	140名
事業所	本社 〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号 東京本社 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟 流杉工場 〒939-8032 富山県富山市流杉255番地 立山工場 〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越398番176号 技術開発センター 同上 アルファフレーム関西 〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号 アルファフレーム九州 〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町一丁目2番地

役員構成 (平成23年6月25日現在)

代表取締役社長	西川浩司
取締役副社長	西川武
取締役	土山邦夫
取締役	西尾謙夫
常勤監査役	藤島敏夫
社外監査役	土屋重義
社外監査役	白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ 東京都港区芝浦四丁目13番23号

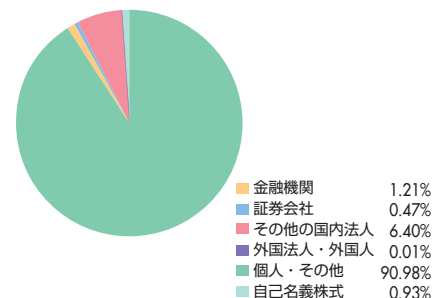
株式の状況 (平成23年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 200,000株
 (2) 発行済株式の総数 普通株式 55,000株 (自己株式511株含む)
 (3) 株主数 2,292名
 (4) 大株主の状況

株 主 名	持 株 数
西 川 浩 司	37,049株
三 協 マ テ リ ア ル 株 式 会 社	2,025株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	1,174株
ダ イ ド ー 株 式 会 社	700株
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	500株
西 川 武	500株
植 田 潤 次 郎	450株
森 永 政 義	368株
大 久 保 忠 重	302株
高 津 伝 動 精 機 株 式 会 社	300株

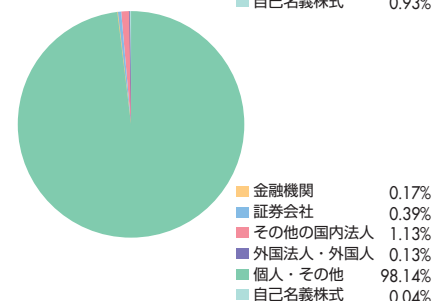
(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)

所 有 者 区 分	株 数	構成比率
金 融 機 関	663株	1.21%
証 券 会 社	256株	0.47%
そ の 他 の 国 内 法 人	3,522株	6.40%
外 国 法 人 ・ 外 国 人	4株	0.01%
個 人 ・ そ の 他	50,044株	90.98%
自 己 名 義 株 式	511株	0.93%



(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)

所 有 者 区 分	人 数	構成比率
金 融 機 関	4名	0.17%
証 券 会 社	9名	0.39%
そ の 他 の 国 内 法 人	26名	1.13%
外 国 法 人 ・ 外 国 人	3名	0.13%
個 人 ・ そ の 他	2,249名	98.14%
自 己 名 義 株 式	1名	0.04%



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当基準日	期末配当金 毎年3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日) そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。上記株主名簿管理人とはご照会先および住所変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉 (郵便物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-288-324

公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載いたします。〈<http://www.nic-inc.co.jp/ir/library.html>〉
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが出来ないときは、日本経済新聞に掲載します。

上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所



エヌアイシ・オートテック株式会社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号